

生命誌オープンラボ

参加無料・予約不要
受付開始 13:00



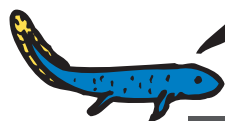
普段お見せできない実験室に入って、
研究の日常を実感できる機会です。
実験を体験し、生きものに触れ、
生きもの研究の魅力を味わいましょう！
フリータイムは、各ラボを訪れて研究員と
語り合うなど自由にお過ごしください。



★ 入退室自由

生命誌研究館

2017年 12月16日 土 13:30 ~ 16:30



プログラム

	1・2F	3F			4F		
13:00 受付開始 13:30 西川顧問 講演 14:00 ガイダンス	チョウが食草を見分けるしくみを探るラボ	DNA から進化を探るラボ	ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知るラボ	カエルとイモリのかたち作りを探るラボ	水槽室	Ω食草園	お楽しみコーナー
14:30 ~ 15:00	★ 生命誌の展示を見てみよう	アゲハチョウの産卵実験	DNA 電気泳動の体験 定員 10名	【実演】分子でビーズをくっつける	科学哲学のお話		
15:10 ~ 15:40		★ フリータイム	昆虫標本作り 定員 10名	【実演】卵の中のDNAを染める		カエルとイモリのかたち作りを探るラボ 水槽室を見てみよう！ 定員 15名	★ 食草園に入ってみよう
15:50 ~ 16:20		半手作りカルシウムイメージング装置	走査電子顕微鏡による昆虫の形態観察 定員 10名	★ フリータイム	★ フリータイム		★ 季刊「生命誌」カード配布 ★ 生命誌版セロ弾きのゴーシュのジオラマと映像を楽しもう ★ 進化の物語を体験する「生命誌すごろく」で遊ぼう ★ ナナフシを観察してみよう

スケジュール

- 13:00~ 受付開始 (1F 入口)
- 13:30~ 西川伸一顧問の講演 (1F 展示ホール奥)
- 14:00~ ガイダンス (研究室とプログラムの紹介・注意事項の説明)
- 14:20~ 実験室フロア 3・4F へ移動

ご注意

- ・定員のあるプログラムは、ガイダンス後にくじ引き抽選を行います。
- ・駐車スペースには限りがありますので、お車でのご来館はなるべくお控えください。
- ・10名以上の団体が参加を希望される場合には、必ず事前にお問い合わせください。
- ・実験室フロアの定員は 80 名程度です。閉館は 16:30 です。
- ・生きもの状態によりプログラムが変更になる場合があります。予めご了承ください。

お問合せ先

072-681-9796
生命誌オープンラボ担当
(平日 9:00~16:00)
12/16 当日は 072-681-9750 へ



プログラム



チョウが食草を見分けるしくみを探るラボ

アゲハチョウの産卵実験 (14:30~)

蝶の幼虫は決まった植物しか食べません。

母蝶は植物を食べないのに、幼虫の食草を見つけて産卵します。

このしくみを人工の葉に卵を産ませる実験で確かめましょう。

★フリータイム (15:10~)

ラボの見学の他、母チョウが植物を正確に選び子孫を残すしくみのお話など、
 研究員やスタッフと自由に話しましょう。

半手作りカルシウムイメージング装置 (15:50~)

味覚受容体遺伝子の機能を確認するために、本来は味を感じる機能を持たない
 培養細胞で働かせて味物質に応答する機能を獲得するか調べます。
 そのための機械を半手作りしました。

DNA から進化を探るラボ

DNA 電気泳動の体験 (14:30~ 定員 10名)

小さくて目に見えない DNA をどうやったら肉眼で確認することができるでしょうか。
 電気泳動という実験で、緑色に輝く DNA を自分の目で確かめましょう。

昆虫標本作り (15:10~ 定員 10名)

昆虫の形態分類の研究では、標本観察を避けて通ることはできません。

昆虫の標本はどうやって作るのでしょうか。標本作製を体験してみましょう。

走査電子顕微鏡による昆虫の形態観察 (15:50~ 定員 10名)

昆虫の体表や脚、触角などには、肉眼での観察が難しい微細な構造があります。
 それを走査電子顕微鏡で観察してみましょう。

ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボ

【実演】 分子でビーズをくっつける (14:30~)

動物のからだの細胞はカドヘリンと呼ばれる細胞間接着分子を使ってくっついています。
 この接着分子が人工物の微小ビーズもくっつけることができることを実演してお示しします。

【実演】 卵の中の DNA を染める (15:10~)

動物のからだの細胞には遺伝情報をもつ DNA が折り畳まれて格納された核が存在します。
 卵の中の DNA はある色素で容易に可視化することができます。
 クモの卵を使って DNA の染色を実演します。

★フリータイム (15:50~)

オオヒメグモの紹介。その他の話題でも研究スタッフと自由にお話ができます。
 細胞間接着分子の進化や動物のからだの軸、遺伝子発現の波、
 様々な実験技術や実験装置など。

カエルとイモリのかたち作りを探るラボ

科学哲学のお話 (14:30~)

三原色って何？いま、北極星はあるの？木が倒れたときに音がする？
 小さなことから「科学の考え方」を考えてみましょう。

水槽室を見てみよう！ (15:10~ 定員 15名、水槽室にて)

たくさんのカエルやイモリが飼われている場所を見てみましょう。

★フリータイム (15:50~)

両生類の発生や、脊椎動物の出現・進化・形づくりなどについて、
 研究員やスタッフと自由に話しましょう。